

# パパ・ママの心配や悩み Q & A 学校編

Q 小学校での勉強についていけるか心配です。ひらがなは読み書きできるようにしておいたほうがいいですか。

A 小学校では楽しくひらがなを学習しますので安心してください。ただ、自分の名前については読んだり書いたりできた方がよいでしょう。学校によっては鉛筆の正しい持ち方を練習させてほしいということもありますので、入学説明会等で学校の方針を聞いておくとういことです。

入学前に身に付けておいてほしいことは、あいさつや身の回りの整理・整頓など基本的な生活習慣です。

Q いろいろな習い事に挑戦させたいと思って習わせたのですが、何をやっても長続きしないんです。どうしたらいいのでしょうか。

A お子さんが自分から「やってみたい」と言ったことはありますか？自分が選んだこと、決めたことについては、興味や関心が持続しやすいものです。まずは、お子さんが選び、決めるところから始めてみてはどうでしょう。習い事は続かなくても、家庭や学校の日常生活の中で続けられていることがあるかもしれません。そんなところを見つけてほめてあげましょう。

Q 食べ物の好き嫌いがあり、しかも食べるのが遅いんです。小学校の給食が心配です。

A 学校では、子どもたちが、食事の重要性を理解し、マナーを身に付けられるよう指導しています。また、給食を通して、食物の生産などに関わる人々への感謝の心や伝統料理などの食文化を理解し尊重する心を育てています。何といたっても「給食はおいしいな」、「みんなと食べる給食は楽しいな」と実感することが大切です。そのためにも先生と相談をして、量を調整したり、食べられた時には大いにほめたりと連携をとっていくとよいでしょう。



蝶結びが、なかなかできなかった次男。何度教えても、すぐに諦めてしまったり、泣き出したり、怒り出したり。でも大好きな野球を始めスパイクを履くようになった途端、すんなりと結べるようになりました。何にでも、時期があるようです。ほかの子と比べて、急ぐことはないと感じました。

(のんびりママ)



# パパ・ママの心配や悩み Q & A 友だち編

**Q** いつも一緒に遊んでいる友だちとちょっとしたことでもけんかになってしまい、友だちにけがをさせてしまいました。こんな時どうすればいいの？

**A** 子どもたちは人との関わり方を、いろいろな場でいろいろな人たちから学んでいきます。時にはけんかをするということもあるでしょう。仲直りをするということも学んでいくでしょう。多くの経験の中でよりよい人間関係をつくっていきます。保護者の方も自分が子どもだった頃を思い出してみるといいでしょう。

さて、けがをさせてしまった場合はどうでしょうか。故意ではなくても相手を傷つけてしまった時には、けがをさせてしまったことを謝りましょう。けがの程度にもよりますが、親も一緒に謝ることで、子どもは人を傷つけてはいけないということをしっかりと覚えることができます。もちろん、お子さんの話をよく聞いてあげること、その上で何がいけなかったのかを考えさせることが必要です。

**Q** 子どもが親の言うことをきかないので、ついいらいらしてしまって怒ってばかり。子どもにも「ママはいつも怒ってばかり、だいきらい」と言われてしまいました。

**A** お母さんに、素直に自分の気持ちを言ってくれていますね。思いを互いに伝え合う親子関係ができているではありませんか。

怒りすぎたと思ったら、その気持ちを正直にお子さんに伝えるとよいと思います。そして、「どうして怒ったかというとね・・・」と、話してみるとよいと思います。お子さんは、自分に心を開いて話してくれるお母さんを、また好きになってくれますよ。

**Q** 子どもの友だちが家に遊びに来るのですが、乱暴な言葉遣いをしているのがとても気になります。その子について、あまりよいわさは聞かないので、できれば一緒に遊ばせたくないのですが・・・？

**A** 気になる友だちと遊ぶことで、お子さんに心配な変化は見られましたか？このあと、二人の友だち関係が続くかどうかはわかりませんが、友だちを自分の意志でつく成ることは、成長していく上で貴重な経験だと思えます。見方を変えれば、いろいろな友だちと関わることができるお子さんのたくましい一面とも考えられませんか。



また、「乱暴な言葉遣い」をする子ども達は、「適切な言葉遣い」や「人との関わり方」を知らない場合が多くあります。ぜひ、家で遊んでいる時に、大人として、「適切な言葉遣い」や「人との関わり方」を伝えてみてください。遊ばせるかどうかの判断はそれからでもよいのではないのでしょうか。

**Q** 恥ずかしくて人には言えませんが、小学生になっても、だっこやおんぶをせがんでくるんです。これってへんですか。

**A** お子さんが、学校やお友達の間で一生涯懸命がんばっている証拠です。ちっともおかしいことではありません。そして、お母さんを信頼しているから甘えられるのです。子どもの心は、甘えと自立を繰り返して成長すると言われてます。お母さんのだっこで充電したお子さんは、また外へ出て元気に活動することでしょう。